



Florence Press (フローレンスプレス)

神無月たより



秋、最近では朝晩と冷え込み、この気温の寒暖差に体調を崩してしまう方もみられます。

この気候の変動によって活動時に活発になる交感神経とリラックスや睡眠時に活発になる副交感神経の自律神経のバランスが崩れやすくなってしまう事も体調不良の要因の一つです。

そして、秋は空気が乾燥してきます。空気が乾燥すると、ウイルスが比較的長い時間空気中を漂うことが出来るようになります。様々な要因で抵抗力が弱いところに、空気中に浮遊しているウイルスが口や鼻を介して体内に侵入しやすくなってしまう。

空気の乾燥を予防するためには湿度を60%程度に保てるように、洗濯物を干したり、加湿器を利用することも効果的と言われています。湿度が高くなるとウイルスは日頃触る机などにも落ちるので、消毒を行うことも大事です。

そして、寒い時期ではありませんが、換気も大切です。

大切なポイントは沢山ありますが、うがい・手洗いの徹底・マスク着用など基本の感染予防対策の徹底も行いながら、体調管理をしていきましょう！

※同居ご家族の方等で、感染性の疾患に罹患された場合は、訪問予定の調整が必要になる場合がございますので、事前のご連絡にご協力お願いいたします。

にん内科 在宅医療部門 ハートケア 院長より

かかりつけ医として、一度関わった患者さまをずっと診ていきたいという思いから、2014年に在宅医療部ハートケア・訪問看護ステーションフローレンスを立ち上げました。今では病院やクリニックからも訪問診療の依頼を受けるようになっていました。

そして同じ志を持った信頼できる医師やスタッフも増えました。

在宅医療は患者さま、ご家族と密に接することが多く、私自身色々な事を教えていただいています。

これからも患者様、ご家族にとって何が 필요한のか、自分たちが出来ること、するべきことは何かを考えながら、ご自宅で生活する患者さまに、最善の医療を提供し貢献できるように精進いたします。

ある日の手

理学療法士が筋骨格系を見ながら施術する手

看護師が心身安寧を願うフリックゼーションの手
この【手】を一つとっても違うものです。ただ、どちらもこの手で状態を知り、安心感を与えられる手にもなると信じて日々リハビリ・看護にあたっています。

理学療法士の知識経験に基づき手指の研ぎ澄まされた感覚は、驚くほどで本当に素晴らしいですし、うらやましくも思います。

その手が必要としている利用者さんに届きたいと思ひ、チームで日々相談判断しながら介入しています。私たち看護師が理学療法士のようにリハビリを行うことは簡単には出来ることではありません。

ただ、実践している内容を見て、聞いて、感じることは出来ます。利用者さんが求めているのがそれであるならばという想いで、理学療法士からレクチャーを受けているある日の昼休み



コラム(サプライズ企画)

日頃の感謝と愛情を込めて
フローレンスの一玲生会の！大切なスタッフに向けたサプライズ企画
【前倒し誕生日】どれだけ前倒ししかかという・・・数か月後の誕生日を【今・祝う】前倒し企画です(笑)
まさか！今ですが、企画側も楽しませてもらいましたの「コマ」。

